

校訓



自彊不息 (みずからつとめてやまず)

教育目標

夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 生徒の育成

目指す生徒像 (→教育目標との関連)

- よく学ぶ、活力のある生徒 →夢をもち
- 相手の立場や考えを尊重し、他者と協働する思いやりのある生徒 →仲間とともに
- 高い志に向かって手立てを工夫し、学び続ける生徒 →未来を切り拓く

よい習慣・言葉は心

目指す学校像

- 安心して学び、生活ができる学校
- 生徒、教師、地域が集い、ともに成長できる開かれた学校
- ふるさと男鹿のよさを知り、将来のふるさとへの応援団を育む学校

目指す教師像

- 生徒、保護者、地域、同僚を大切にすあたたかい教師
- 生徒に範を示し、信頼される教師
- 専門職として学び続ける教師

重点施策

男鹿南中版ふるさとキャリア教育



男鹿南ぐるおがる (GLOGAL)



1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた弛まぬ授業改善 男鹿で学ぶ

- ① ICT、AIドリルの効果的な活用
- ② 学習内容定着の確実な見届け

2 男鹿を存分に生かしたNS-netカリキュラム開発 男鹿に生きる

- ① NS-net探究課題、学習課題の男鹿密着型への転換
- ② 男鹿の本物に関わる直接体験の充実

3 生まれた町で生徒が活躍する活動の展開 男鹿に貢献する

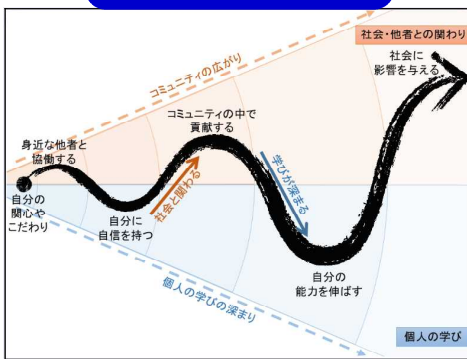
- ① CSと南中生が共につくる地域貢献活動の実施
- ② 南中生の作品や活動する姿を積極的に地域に提示

ぐるおがる (GLOGAL) とは？

ぐるおがる = global (世界的な)
ぐるろう = grow (育つ)
おが = oga (男鹿)
ろおがる = local (地元)
おがる = 秋田弁で、成長する、
大きくなるの意

※教育課程全体に、男鹿の素材に触れたり、関わったりする活動を取り入れることにより醸成される「男鹿 (oga) のよさ」の実感を基盤に、地元 (local) でも世界 (global) でも活躍できる力を備える生徒を育む (grow) ことを目指す、男鹿南中版ふるさとキャリア教育の総称。

「ぐるおがる」学びのイメージ



*ベネッセ教育研究所「アクティブ・ラーニングを活用した指導と評価研究」における「これからの学びのプロセス」より

【確かな学力の育成】

- 相互授業参観による一人一授業提示及び研修
- 年2回の生徒、教師による「授業アンケート」を元にした授業改善
- ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり

【豊かな人間性の育成】

- 本物に関わる体験を生かした心に響く道徳教育の推進
- 生徒の主体性を尊重した生徒会活動等の充実
- 生徒同士、生徒と職員の日々のふれあいの充実

【カリキュラムマネジメント】

- 「ぐるおがる検証システム」(月ごとの検証)の機能の活用

【たくましい心と体の育成】

- 生徒の居場所づくりと生徒同士の絆づくりの充実
- 毎週水曜開催「生徒指導委員会」における情報交換と支援方法の検討
- 文科委託「通学路安全推進事業」による通学路の安全保障

【教職員の研修の充実】

- 小学校や関係機関と連携した研修
- 毎月の職員会議における主任層教職員による不祥事防止研修

＜コミュニティ・スクール＞

- 運営協議委員＋ぐるおがるサポートチームによる開かれた協議会の開催
- 「ぐるおがる講座」への参加者の拡大

校内研究

＜研究主題＞

よく学び、他と協働し、自己の成長を実感できる生徒の育成
～「男鹿南中スタンダード」を踏まえた授業づくり～

【重点1】「まとめ・振り返り・価値付け」の過程における手立ての充実

- ・「何が分かったか」、「何ができるようになったか」を整理、理解するための授業終末における活動の工夫
- ・自己の成長(変容)を実感できるような振り返りの工夫
- ・成長の実感を促す、生徒の活動に対する教師の適切な価値付け
- ・〈男鹿南中スタンダード〉授業を実現するための弛まぬ授業改善(相互授業参観、年2回の授業アンケート)

【重点2】効果的なICTの取り入れ方の工夫

- ・考えを交流したり、比較・検討したり、集約したりするなど、集団の学びをより進化させるためのICT活用の工夫

男鹿南中スタンダード

- ①魅力ある課題の設定と出せ方(導入)の工夫
- ②積極的に学び合う「集団の学び」の工夫
- ③「個」の学びに活かすまとめと振り返りの工夫
- ④生徒を学びの主体や深い学びへと導く教師のコーディネートとファシリテート